

タクソノミフレームワーク設計書

(技術編：文書情報)

金融庁 総務企画局 企業開示課

改訂記録

日付	変更内容
2007. 2. 1	新規
2008. 3. 3	一部文言等を修正。

目次

1.	はじめに.....	3
1-1	本書の目的	3
1-2	本書の記載範囲と関連文書	3
1-3	本書の構成	4
1-4	凡例	5
2.	タクソノミフレームワークの前提	6
2-1	技術仕様.....	6
2-2	タクソノミ化対象範囲.....	6
3.	タクソノミフレームワークの構成	7
3-1	タクソノミの概要.....	7
3-2	構成要素の詳細	7
3-3	文書情報タクソノミのスキーマの設定方法	8
3-4	名称リンクの設定方法.....	10
3-5	表示リンクの設定方法.....	11
3-6	URLとインポート・参照関係.....	27
3-7	企業別タクソノミと報告書インスタンスが複数になる場合について	28
4.	インスタンス	29
4-1	文書情報タクソノミのインスタンス構成	29
4-2	コンテキスト	29
4-3	入力及び解釈のルール.....	29
5.	各種命名規約	33
5-1	文書情報タクソノミ	33
5-2	報告書インスタンス	35

1. はじめに

1-1 本書の目的

タクソノミフレームワーク設計書(技術編：文書情報)(以下、本書)は、報告書インスタンスを作成者の意図した表現で伝えるための情報及び開示対象者に関する情報を保持するためのタクソノミ(以下、文書情報タクソノミ)を定義することを目的とする。

1-2 本書の記載範囲と関連文書

タクソノミの全体図は図 1-1の通りとする。本書では、文書情報タクソノミのタクソノミフレームワークを記載する。財務情報編では技術的な観点から財務情報に関するタクソノミ(以下、財務情報タクソノミ)のタクソノミフレームワークを記載、会計編では、会計的な観点から財務情報タクソノミのタクソノミフレームワークを記載する。

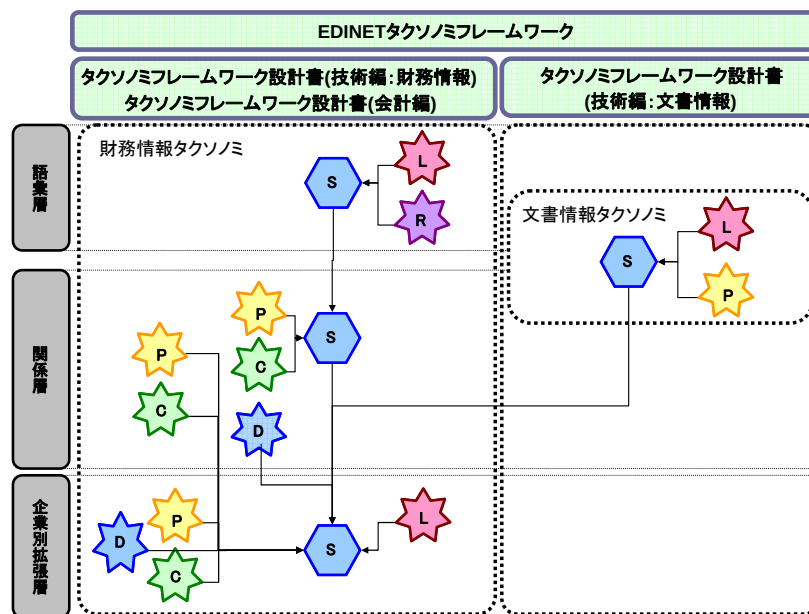


図 1-1 関連文書とタクソノミフレームワークの関係

本書を含めた関連文書の構成図については図 1-2の通りである。

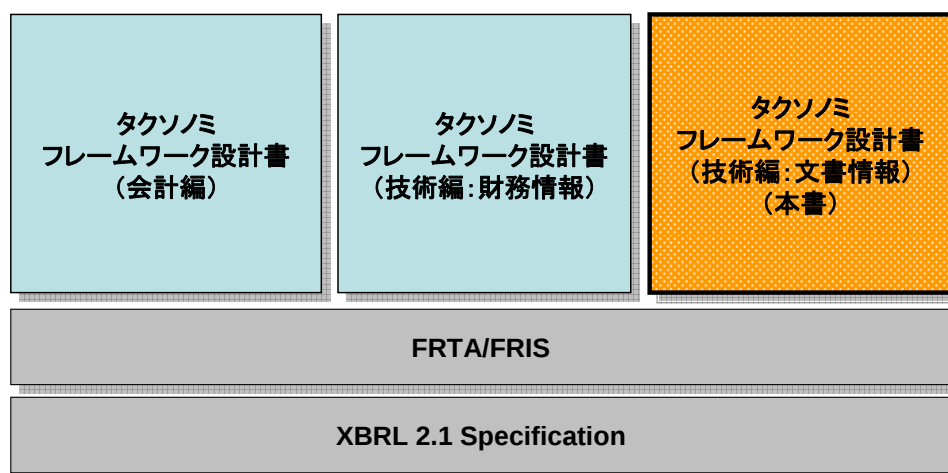


図 1-2 関連文書の構成

1-3 本書の構成

本書の構成は、次の通りである。

- 1 章

本書の目的や前提について説明する。

- 2 章

タクソノミフレームワークの前提となる技術仕様と、文書情報タクソノミの位置づけについて説明する。

- 3 章

文書情報タクソノミの全体像と設定する内容について記載する。

- 4 章

タクソノミフレームワークに従ったタクソノミをもとに、提出会社が作成すべきインスタンスについて記載する。

- 5 章

タクソノミフレームワークの構成要素に対する命名規約を記載する。

1-4 凡例

本書で各図における凡例は、図 1-3の通りである。

< 凡例 >

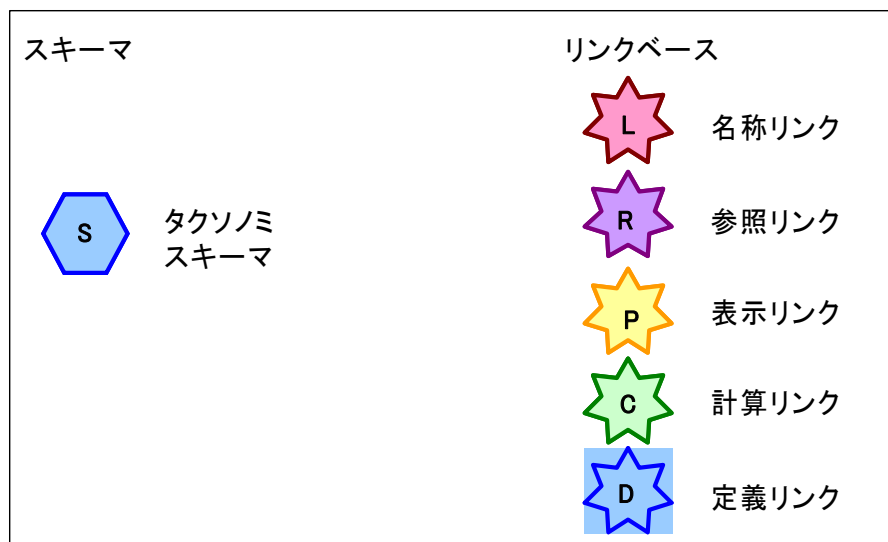


図 1-3 図における凡例

2. タクソノミフレームワークの前提

2-1 技術仕様

本書が想定する XBRL 文書の技術仕様は「タクソノミフレームワーク設計書(技術編：財務情報)」に記載の内容と同様とする。

2-2 タクソノミ化対象範囲

本書でタクソノミ化の対象とする範囲は次の通りとする。

① 報告書インスタンスを作成者の意図した表現で伝えるための情報

- 財務諸表の有無
- 財務諸表の列の有無
- 列の拡張リンクロール
- 列のコンテキスト

② 開示対象者に関する情報

- 開示対象者の名称
- 開示対象者の総称

3. タクソノミフレームワークの構成

3-1 タクソノミの概要

本書の規定する文書情報タクソノミの概要は図 3-1の通りである。

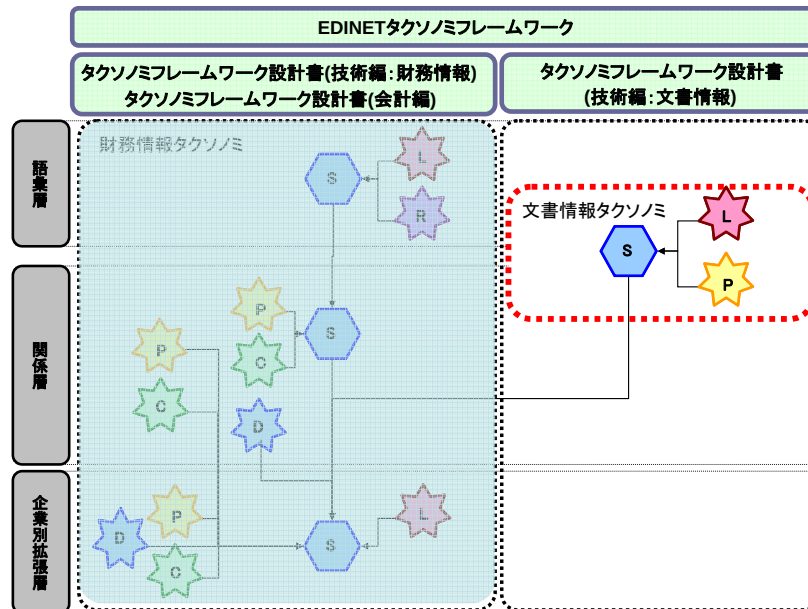


図 3-1 文書情報タクソノミの概要図

3-2 構成要素の詳細

文書情報タクソノミで定義する内容は主に次の通りである。

① スキーマ

- 要素名
- 要素id
- 文書情報のデータ型
- 代替グループ
- 貸借区分
- 期間時点区分
- 抽象区分
- 値が未設定の要素の報告書インスタンスへの出現可否

② 名称リンク

名称リンクでは主に次の内容を定義する。詳細は、「3-4名称リンクの設定方法」を参照。

- 財務諸表、列の有無、拡張リンクロールなどの項目及び開示対象者に関する項目の日本語名称

- 財務諸表、列の有無、拡張リンクロールなどの項目及び開示対象者に関する項目の英語名称

③ 表示リンク

表示リンクでは主に次の内容を定義する。詳細は「3-5表示リンクの設定方法」を参照。

- 財務諸表、列の有無、拡張リンクロールなどの表示上必須とされる項目の関係
- 会社名、ファンド名などの開示対象者に関する項目の関係

3-3 文書情報タクソノミのスキーマの設定方法

3-3-1 スキーマの設定単位

文書情報タクソノミのスキーマは一つ設定する。

3-3-2 要素名及び要素 id の設定

要素名及び要素 id の設定方法は「タクソノミフレームワーク設計書(技術編：財務情報)」と同様とする。

3-3-3 データ型 (type)

設定項目の特性を考慮し、表 3-1の通りとする。

表 3-1 要素のデータ型一覧

No	データ型	説明	利用する要素
1	booleanItemType	財務諸表、列の有無を表現するために利用する。	「財務諸表」、「1 列目」
2	anyURIItemType	作成者が意図した拡張リンクロールの名前空間 URI を表現するために利用する。	「名称リンク拡張リンクロール」、「表示リンク拡張リンクロール」、「計算リンク拡張リンクロール」、「計算リンク拡張リンクロール 2」
3	stringItemType	作成者が意図したコンテキスト ID、開示対象者の名称等を表現するために利用する。	「期首コンテキスト ID」、「期間コンテキスト ID」、「期末コンテキスト ID」、「開示対象者の名称」、「開示対象者の総称」

3-3-4 代替グループ (substitutionGroup 属性)

設定項目の特性を考慮し、表 3-2の通りとする。

表 3-2 代替グループ一覧

No	データ型	説明	利用例
1	item	構造を持たないので item を使用する。	「財務諸表」

3-3-5 貸借区分 (balance 属性)

文書情報タクソノミでは monetaryItemType のデータ型の要素が存在しないため、balance 属性は設定しない。

3-3-6 期間時点区分 (periodItemType 属性)

期間時点区分は設定される要素すべてに instant 属性値を設定する。

3-3-7 抽象区分(見出し区分)(abstract 属性)

抽象区分を表 3-3の通り設定する。全ての項目に対して設定必須とする。

表 3-3 抽象区分一覧

No	設定値	説明	利用例
1	true	見出しを意味する項目。又は、報告書インスタンスに出現することができない抽象的な要素。	「XBRL 文書情報」、「開示対象者情報」
2	false	報告書インスタンスに出現することができる具体的な要素。	「財務諸表」、「1 列目」

3-3-8 未設定可否区分(nillable 属性)

未設定可否区分を表 3-4の通りとする。全ての項目に対して設定必須とする。

なお、FRTA 2.1.6 に従い、全ての項目の nillable 属性は true に設定する。

表 3-4 未設定可否区分一覧

No	設定値	説明	利用例
1	true	値がないということを表現できるようにする。	「財務諸表」

3-4 名称リンクの設定方法

3-4-1 ラベルロールの設定

表 3-5に記載するラベルロールのラベルを日本語・英語それぞれ設定する。表 3-5のラベルは全て必須とする。

表 3-5 ラベルロール一覧

No	名称	ラベルロール	説明	言語
1	標準ラベル	label ^{※1}	標準に設定するラベル。	日・英
2	冗長ラベル	verboseLabel ^{※1}	全ての要素で一意のラベル。	日・英
3	ドキュメンテーション	documentation ^{※1}	要素に関する説明事項を記載するラベル。 ※冗長ラベルと同じ値を設定する。	日・英

※1 : “<http://www.xbrl.org/2003/role/>” に続くロールの名称のみを記載。

3-4-2 拡張リンクロールの設定

名称リンクの拡張リンクロールは <http://www.xbrl.org/2003/role/link> を利用する。

3-5 表示リンクの設定方法

3-5-1 拡張リンクロールの設定

文書情報タクソノミの表示リンクの拡張リンクロール一覧は表 3-6の通りとする。

表 3-6 拡張リンクロール一覧

No	拡張リンクロール名	詳細
1	XBRLDocumentInfo	報告書インスタンスを、作成者の意図した表現で伝えるための情報 ● 財務諸表の有無 ● 財務諸表の列の有無 ● 列の拡張リンクロール ● 列のコンテキスト
2	EntityInfo	開示対象者に関する情報 ● 開示対象者の名称 ● 開示対象者の総称

3-5-2 XBRLDocumentInfo のツリーの要素

XBRLDocumentInfoのツリーを構成する要素は表 3-7の通り。

表 3-7 XBRLDocumentInfo の要素一覧

No	項目	説明	データ型
1	XBRL 文書情報	ツリーのルートを表す見出し要素	stringItemType
2	財務諸表種別 1 (連結・個別、年度・ 四半期等の種別)	財務諸表、連結財務諸表、四半期財務諸表、四半期連結財務諸表等の中で、該当する財務諸表を表す。	booleanItemType
3	財務諸表種別 2 (財務諸表の構成に おける種別)	貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書等の中で、該当する財務諸表を表す。	booleanItemType
4	名称リンク拡張リンクロール	名称リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を表す。	anyURIItemType
5	列	財務諸表の左から 1 列目、2 列目、3 列目の有無を表す。	booleanItemType
6	表示リンク拡張リンクロール	表示リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を表す。	anyURIItemType
7	計算リンク拡張リンクロール	計算リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を表す。	anyURIItemType
8	計算リンク拡張リンクロール 2	計算リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を表す。計算リンクが複数存在する場合のみ設定する。	anyURIItemType
9	期首コンテキスト ID	列の期首コンテキストのコンテキスト ID を表す。	stringItemType
10	期間コンテキスト ID	列の期間コンテキストのコンテキスト ID を表す。	stringItemType
11	期末コンテキスト ID	列の期末コンテキストのコンテキスト ID を表す。	stringItemType

※：値の入力ルールについては表 4-1を参照。

3-5-3 XBRLDocumentInfo のツリー構造

XBRLDocumentInfo のツリー構造は以下の通り。

① 連結財務諸表

表 3-8 XBRLDocumentInfo ツリー構造(連結財務諸表)

表示リンクの要素と表示順序の設定
XBRL 文書情報
連結財務諸表
連結貸借対照表
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
連結損益計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
連結株主資本等変動計算書等
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2

期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
連結キャッシュ・フロー計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID

② 財務諸表

表 3-9 XBRLDocumentInfo ツリーの構造(財務諸表)

表示リンクの要素と表示順序の設定
財務諸表
貸借対照表
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
損益計算書等
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
株主資本等変動計算書等
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール

計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
キャッシュ・フロー計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID

③ 四半期連結財務諸表

表 3-10 XBRLDocumentInfo ツリーの構造(四半期連結財務諸表)

表示リンクの要素と表示順序の設定
四半期連結財務諸表
四半期連結貸借対照表
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
四半期連結損益計算書（累計期間）
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
四半期連結損益計算書（会計期間）
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール

期間コンテキスト ID
四半期連結キャッシュ・フロー計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID

④ 四半期財務諸表

表 3-11 XBRLDocumentInfo ツリーの構造(四半期財務諸表)

表示リンクの要素と表示順序の設定
四半期財務諸表
四半期貸借対照表
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
四半期損益計算書（累計期間）
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
四半期損益計算書（会計期間）
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール

期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
四半期キャッシュ・フロー計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID

⑤ 中間連結財務諸表

表 3-12 XBRLDocumentInfo ツリーの構造(中間連結財務諸表)

表示リンクの要素と表示順序の設定
中間連結財務諸表
中間連結貸借対照表
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
3 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
中間連結損益計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
3 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期間コンテキスト ID
中間連結株主資本等変動計算書等

名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
3 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
中間連結キャッシュ・フロー計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID

期末コンテキスト ID
3 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID

⑥ 中間財務諸表

表 3-13 XBRLDocumentInfo ツリーの構造(中間財務諸表)

表示リンクの要素と表示順序の設定
中間財務諸表
中間貸借対照表
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
3 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期末コンテキスト ID
中間損益計算書等
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
3 列目

表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
中間株主資本等変動計算書等
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
3 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール 2
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
中間キャッシュ・フロー計算書
名称リンク拡張リンクロール
1 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID

期末コンテキスト ID
2 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID
3 列目
表示リンク拡張リンクロール
計算リンク拡張リンクロール
期首コンテキスト ID
期間コンテキスト ID
期末コンテキスト ID

3-5-4 EntityInfo のツリーの要素

EntityInfoのツリーを構成する要素を表 3-14の通りとする。

表 3-14 EntityInfo の要素一覧

No	項目	説明	データ型
1	開示対象者情報	ツリーのルートを表す見出し要素	stringItemType
2	開示対象者の名称 (日本語)	会社名、ファンド名など開示対象者の名称(日本語)を表す。	stringItemType
3	開示対象者の名称 (英語)	会社名、ファンド名など開示対象者の名称(英語)を表す。	stringItemType
4	開示対象者の総称 (日本語)	開示対象者の総称(日本語)を表す。	stringItemType
5	開示対象者の総称 (英語)	開示対象者の総称(英語)を表す。	stringItemType

3-5-5 EntityInfo のツリー構造

EntityInfo の拡張リンクロールのツリー構造は以下の通り。

表 3-15 EntityInfo ツリー構造

表示リンクの要素と表示順序の設定
開示対象者情報
開示対象者の名称 (日本語)
開示対象者の名称 (英語)
開示対象者の総称 (日本語)
開示対象者の総称 (英語)

3-6 URL とインポート・参照関係

3-6-1 URL

文書情報タクソノミの URL は「タクソノミフレームワーク設計書(技術編：財務情報)」を参照。

3-6-2 インポート・参照関係

文書情報タクソノミはロールタイプスキーマの相対パスを指定してインポートする。フォルダ構成は「タクソノミフレームワーク設計書(技術編：財務情報)」を参照。

企業別タクソノミは文書情報タクソノミのインポートを必須とし、絶対パスの URL を指定する。

文書情報タクソノミのスキーマからロールタイプスキーマをインポートする場合の指定の仕方は以下の通り。

schemaLocation="../../rt/{公開日}/jpfr-rt-{公開日}.xsd"

3-7 企業別タクソノミと報告書インスタンスが複数になる場合について

1つの開示書類において、複数の開示対象者の財務諸表を XBRL 形式で提出するなど、企業別タクソノミと報告書インスタンスを複数提出する場合、文書情報タクソノミは企業別タクソノミごとにインポートし、インスタンス値を設定する。

4. インスタンス

4-1 文書情報タクソノミのインスタンス構成

インスタンスファイルは報告書インスタンスに包含される。報告書インスタンスの構成は「タクソノミフレームワーク設計書(技術編：財務情報)」を参照。

4-2 コンテキスト

本書が想定する報告書インスタンスのコンテキストでは、id属性、エンティティ(entity)要素、期間時点(period)要素を設定する。設定項目については表 5-6を参照。

4-3 入力及び解釈のルール

4-3-1 XBRLDocumentInfo ツリーの要素の入力及び解釈のルール

XBRLDocumentInfoのツリーを構成する要素の入力及び解釈のルールは表 4-1の通り。

表 4-1 XBRLDocumentInfo ツリーの要素の入力及び解釈のルール一覧

No	項目	入力及び解釈のルール	要否
1	財務諸表種別 1 (連結・個別、年度・四半期等の種別)	入力値は true、false 又は nil 属性値に true を設定(以下、nil="true")する。false 又は nil="true"の場合、そのサブツリーの要素には値を入力しない。 入力値 true の場合、サブツリーを有効とし、false、nil="true"又は入力値なしの場合、サブツリーを無効とする。	◎
2	財務諸表種別 2 (財務諸表の構成における種別)	入力値は true、false 又は nil="true"とする。false 又は nil="true"の場合、そのサブツリーの要素には値を入力しない。 入力値 true の場合、サブツリーを有効とし、false、nil="true"又は入力なしの場合、サブツリーを無効とする。	△
3	名称リンク拡張リンクロール	財務諸表を表示する際の名称リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を入力する。	○
4	列	入力値は true、false 又は nil="true"とする。false 又は nil="true"を入力した場合、そのサブツリーの要素には値を入力しない。 入力値 true の場合、サブツリーを有効とし、false、nil="true"又は入力なしの場合、サブツリーを無効とする。 注：列の有無は左から詰めて入力する。例えば、決算期変更等で有価証券報告書の貸借対照表に当期のみ記載する場合、2 列目要素に true を入力するのではなく、1 列目要素に true を入力する。	△

No	項目	入力及び解釈のルール	要否
5	表示リンク拡張リンクロール	列を表示する際の表示リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を入力する。	○
6	計算リンク拡張リンクロール	財務諸表の列の加減算関係を検証する際の計算リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を入力する。 計算リンク拡張リンクロールと期首、期間、期末コンテキスト ID を参照することで、作成者が意図した組み合わせの加減算関係を検証できる。	○
7	計算リンク拡張リンクロール 2	財務諸表の列の加減算関係を検証する際の計算リンクの拡張リンクロールの名前空間 URI を入力する。株主資本等変動計算書等、計算リンクの拡張リンクロールが複数ある場合に入力する。 計算リンク拡張リンクロールと期首、期間、期末コンテキスト ID を参照することで、作成者が意図した組み合わせの加減算関係を検証できる。	△
8	期首コンテキスト ID	財務諸表の列を表示する際の期首のコンテキスト ID を入力する。	△
9	期間コンテキスト ID	財務諸表の列を表示する際の期間のコンテキスト ID を入力する。	△
10	期末コンテキスト ID	財務諸表の列を表示する際の期末のコンテキスト ID を入力する。	△

凡例 ◎：必須 ○：親項目が **true** の時のみ入力必須 △：必要に応じて入力

<例>連結財務諸表、連結貸借対照表及び連結損益計算書の前期、当期の列を表現するインスタンス値は図 4-1の通りとする。

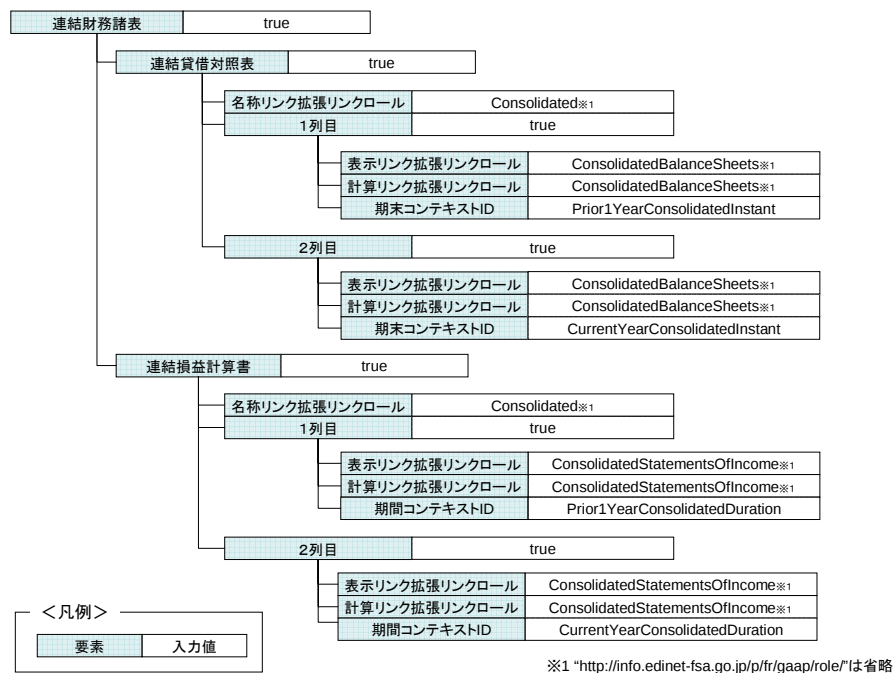


図 4-1 連結貸借対照表及び連結損益計算書の入力例

<例>連結財務諸表、連結貸借対照表及び連結損益計算書の前期が報告対象ではない場合のインスタンス値は図 4-2の通りとする。

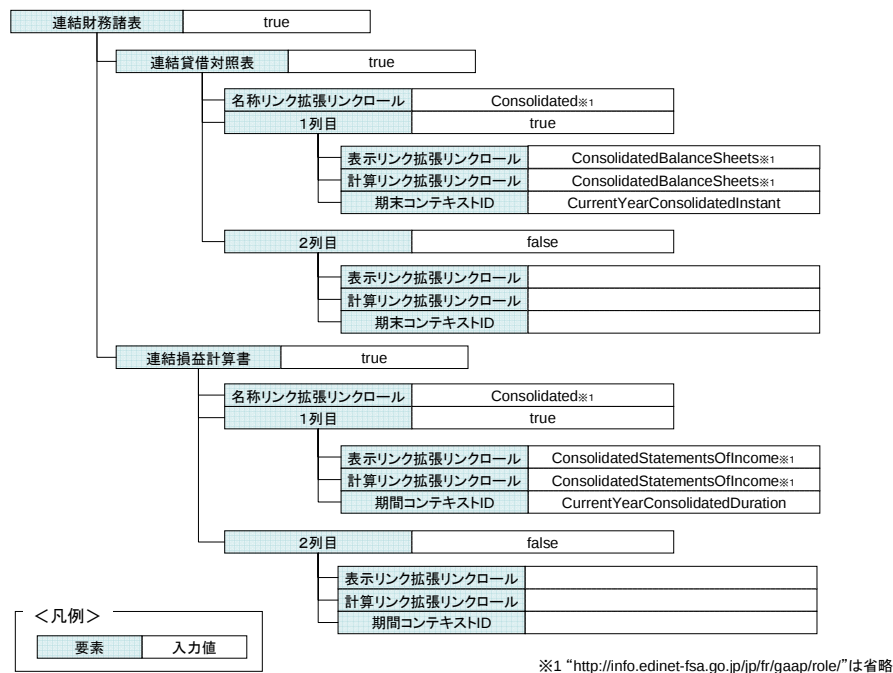


図 4-2 連結貸借対照表及び連結損益計算書の前期が報告対象ではない場合の入力例

4-3-2 EntityInfo ツリーの要素の入力及び解釈のルール

EntityInfoのツリーを構成する要素の入力及び解釈のルールは表 4-2の通り。

表 4-2 EntityInfo ツリーの要素の入力及び解釈のルール一覧

No	項目	説明	要否
1	開示対象者の名称 (日本語)	会社名、ファンド名など開示対象者の名称(日本語)を入力する。	◎
2	開示対象者の名称 (英語)	会社名、ファンド名など開示対象者の名称(英語)を入力する。	△
3	開示対象者の総称 (日本語)	開示対象者の総称(日本語)を入力する。	△
4	開示対象者の総称 (英語)	開示対象者の総称(英語)を入力する。	△

凡例 ◎：必須 △：必要に応じて入力

5. 各種命名規約

5-1 文書情報タクソノミ

5-1-1 名前空間 URI

<http://info.edinet-fsa.go.jp/jp/fr/gaap/{層}/{スキーマタイプ}/{公開日}>

表 5-1 文書情報タクソノミのタクソノミスキーマの名前空間 URI

No	項目	設定値	説明
1	{層}	o	語彙、関係、企業別拡張以外の層 (other layer) を示す。
2	{スキーマタイプ}	di	文書情報 (document information) タクソノミであることを示す。
3	{公開日}	YYYY-MM-DD	公開日

5-1-2 名前空間プレフィックス

表 5-2 文書情報タクソノミの名前空間プレフィックス命名規約

No	対象	命名規約	説明
1	文書情報タクソノミ	jpfr-di	文書情報タクソノミのプレフィックスを示す。

5-1-3 拡張リンクロール

表示リンクの拡張リンクロールを次の通り規定する。

<http://info.edinet-fsa.go.jp/jp/fr/gaap/role/{拡張リンクロール名}>

表 5-3 文書情報タクソノミの拡張リンクロール命名規約

No	項目	設定値	説明
1	{拡張リンクロール名}	{用途}	用途を示す文字を英字で設定する。
2	{用途}	XBRLDocumentInfo	XBRL 文書情報用
3		EntityInfo	開示対象者情報用

5-1-4 タクソノミファイル名

表 5-4 文書情報タクソノミのファイル名命名規約

No	ファイルの種類	命名規約
1	スキーマファイル	{名前空間プレフィックス}-{公開日}.xsd
2	表示リンクファイル	{名前空間プレフィックス}-{公開日}-presentation.xml
3	名称リンクファイル	{名前空間プレフィックス}-{公開日}-label{-言語}.xml

表 5-5 文書情報タクソノミのファイル名の設定値一覧

No	項目	設定値	説明
1	{名前空間プレフィックス}	文字列	表 5-2を参照。
2	{公開日}	YYYY-MM-DD	当該語彙タクソノミの公開日
3	{-言語}	-en	英語名称
4		(設定なし)	日本語名称の場合、設定しない。

5-2 報告書インスタンス

5-2-1 コンテキストの設定値

表 5-6 コンテキストの設定値一覧

No	項目	設定値	説明
1	id	DocumentInfo	文書情報を示す固定値を設定する。
2	scheme	http:// info.edinet-fsa.go.jp	EDINET の名前空間 URI を設定する。
3	identifier	{EDINET コード}-{追番}	No. 5、6 を参照。
4	Instant	YYYY-MM-DD	報告書提出日を設定する。
5	{EDINET コード}	英数字	EDINET コード又はファンドコードを示す。
6	{追番}	数値	数値は 3 桁の 000 から開始し、1 ずつ増加する。報告書インスタンスファイルが複数存在する場合のインスタンスの順番を示す。